授業科目	一般臨床医学			担当者	大友 健治 他	(オムニバス)			
か ひ ち	16- 44- 15- 14- 14- 11- 11- 11- 11- 11- 11- 11- 11	学 年	3年	総単位数	1単位				
学科名	作業療法学科	開講時期	後期	選択•必修	必修				
内 容	国字書絵にこれまで出題された問題がた 一般晩年に受む受き 中藤佐島・明佐島・耳								
到達目標 国家試験の出題傾向を理解する。一般臨床医学の範囲で出題される国家試験問題を理解する。									
授業計画									
	エンテーション								
第2回 眼の									
	試験に出題された眼疾患								
	試験に出題された眼疾患	2							
第5回 皮膚	の構造と感覚受容器								
L	試験に出題された皮膚疾								
第7回 国家	試験に出題された皮膚疾	患(熱傷を	含む)②						
第8回 耳の	構造								
第9回 国家	試験に出題された耳鼻咽	喉科疾患①	D						
第10回 国家	試験に出題された耳鼻咽	喉科疾患②	2)						
第11回 泌尿	器の構造								
第12回 国家	試験に出題された泌尿器	疾患①							
第13回 老年	期の身体構造								
第14回 国家	試験に出題された老年期	疾患①							
第15回 まとぬ	D								
評価方法									
	模擬試験を行いその結果 星刻は-5点とする。	60%以上取	なったもの	を合格とする	5.				
授業時間外	の学習(予習・復習等)に	ついて							
	試験の過去問を解いて, 謝	関を設定し	、予習を	行うこと。					
授業時間外	授業時間外の質問について 授業時間外の質問は、授業前後の時間でお答えするとともにメールでも受け付けております。 授業時間外の場合は、教務事務を通じて、回答いたしますので、以下のアドレスにメールしてくださ								
	シアドレス		kenji.	ootomo@o	er.ac.jp				
教科書 書名 著者	名								
出版社									
参考図書 書名									
著者名									
出版 留意事項	社								
田尽尹伐									

本授業は、対面での実施を基本とするが、緊急時など必要に応じて遠隔授業(リアルタイム配信型またはオンデマンド型)に変更することがある。実施方法の変更については、講義支援システムMoodleなど

を通じて通知する。 また、試験期間中に一斉休講が生じた場合、評価方法を変更することがある。評価方法の変更につい ては各科目担当者より、別途通知する。

授業科目	国試対策ゼミ	ナール I		担当者	3年生担任 他	(オムニバス)	
学到	佐类泰沙兴利	学 年	3年	総単位数	1単位		
子件名	学科名 作業療法学科		前期	選択•必修	必修		
内 容	内 容 生理学を中心とした国家試験の過去問を理解するため、過去の問題を検討し理解する						
	国家試験の出題問題を理	里解する。					
授業計画							
第1回 生理	里学を中心とした専門基礎を	科目の復習	1				
第2回 生理	里学を中心とした専門基礎を	科目の復習	2				
第3回 生理	里学を中心とした専門基礎を	科目の復習	3				
第4回 国部	式問題の振り返り学習①			•			
第5回 国部	式問題の振り返り学習②		•••••				
第6回 国部	式問題の振り返り学習③		•••••				
第7回 国部	式問題の振り返り学習④			•••••			
第8回 国部	式問題の振り返り学習⑤		•••••	•••••			
第9回 国部	式問題の振り返り学習⑥						
第10回 国部	式問題の振り返り学習⑦						
第11回 国部	式問題の振り返り学習⑧						
第12回 国部	式問題の振り返り学習⑨						
第13回 国部							
第14回 国語	第14回 国試問題の振り返り学習⑪						
	第15回 国家試験模擬試験						
評価方法							

評価方法

国家試験の模擬試験を行いその結果60%以上取ったものを合格とする。 無断欠席・遅刻は-5点とする。

授業時間外の学習(予習・復習等)について

各自,国家試験の過去問を解いて,課題を設定し,予習を行うこと。

授業時間外の質問について

授業時間外の質問は、授業前後の時間でお答えします。

教科書	
書名	PT/OT国家試験必修ポイント 専門基礎分野 基礎医学2021
著者名	
出版社	医歯薬出版株式会社
書名	PT/OT国家試験必修ポイント 専門基礎分野 臨床医学2021
著者名	
出版社	医歯薬出版株式会社
書名	PT/OT国家試験必修ポイント 基礎OT学2021
著者名	
出版社	医歯薬出版株式会社
書名	PT/OT国家試験必修ポイント 障害別OT治療学2021
著者名	
出版社	医歯薬出版株式会社
書名	国家試験対策コンテンツ
著者名	
出版社	全国リハビリテーション教育協会
参考図書	
書名	
著者名	
出版社	

本授業は、対面での実施を基本とするが、緊急時など必要に応じて遠隔授業(リアルタイム配信型またはオンデマンド型)に変更することがある。実施方法の変更については、講義支援システムMoodleなどを通じて通知する。

また、試験期間中に一斉休講が生じた場合、評価方法を変更することがある。評価方法の変更については各科目担当者より、別途通知する。

授業科目	国試対策ゼ	ミナールⅡ		担当者	3年生担任 他	(オムニバス)			
学科名	 作業療法学科	学 年	3年	総単位数	1単位				
7714 	厂术从位于们	開講時期	前期	選択•必修	必修				
内 容	内 容 解剖学を中心とした国家試験の過去問を理解するため、過去の問題を検討し理解する。								
到達目標	国家試験の出題問題を	理解する。							
授業計画		. A							
	学を中心とした専門基礎								
	学を中心とした専門基礎								
第3回 解剖	学を中心とした専門基礎	科目の復習(3)						
第4回 国試	は問題の振り返り学習①								
第5回 国試	は問題の振り返り学習②								
第6回 国試	は問題の振り返り学習③								
第7回 国試	は問題の振り返り学習④	••••••							
第8回 国試	は問題の振り返り学習⑤	•••••							
第9回 国試	に に に に に に に に に に に に に に に に に に に								
第10回 国試	 に問題の振り返り学習⑦								
	問題の振り返り学習⑧								
	問題の振り返り学習⑨								
第13回 国試	問題の振り返り学習⑩								
	問題の振り返り学習⑪								
	試験模擬試験								
評価方法									
無断欠席·追	模擬試験を行いその結果 星刻は-5点とする。 の学習(予習・復習等)に		ったものを	合格とする	0				
各自, 国家記	試験の過去問を解いて, !	課題を設定し	,予習を	行うこと。					
授業時間外	の質問について								
授業時間外	の質問は、授業前後の時	f間でお答え し)ます。						
教科書書名		国家試験必何	多ポイント	専門基礎	分野 基礎医学	2021			
著者。出版		<u> </u>	医歯薬出	版株式会社	 				
書名		国家試験必何				2021			
著者		1	产提供 口	にサナクナ	L				
出版				版株式会社 ポイント 基	<u>t</u> :礎OT学2021				
著者		- 1/ 01 11/01		4	.,,,				

医歯薬出版株式会社 PT/OT国家試験必修ポイント 障害別OT治療学2021

医歯薬出版株式会社

書名 著者名

出版社 書名 著者名

出版社

書名 著者名 出版社

参考図書

本授業は、対面での実施を基本とするが、緊急時など必要に応じて遠隔授業(リアルタイム配信型またはオンデマンド型)に変更することがある。実施方法の変更については、講義支援システムMoodleなどを通じて通知する。

を通じて通知する。 また、試験期間中に一斉休講が生じた場合、評価方法を変更することがある。評価方法の変更については各科目担当者より、別途通知する。

授業科目	国試対策ゼミ	ミナールⅢ		担当者	3年生担任 他	(オムニバス)	
学科名	佐	学 年	3年	総単位数	1単位		
子件名	作業療法学科	開講時期	後期	選択·必修	必修		
内 容	運動学を中心とした国家	試験の過去	間を理解	するため、	過去の問題を検討	けし理解する。	
	国家試験の出題問題を理	理解する。					
授業計画		A - 4-37	-				
	学を中心とした専門基礎						
第2回 運動)学を中心とした専門基礎	科目の復習(2)				
第3回 運動	学を中心とした専門基礎	科目の復習(3				
第4回 グル	ープ学習①						
第5回 グル	ープ学習②						
第6回 グル	ープ学習③						
第7回 グル	ープ学習④						
第8回 グル	ープ学習⑤						
第9回 グル	ープ学習⑥						
	ープ学習⑦						
第12回 グル							
	 一プ学習⑩						
	 一プ学習①						
評価方法							
	模擬試験を行いその結果 星刻は-5点とする。	460%以上取 一	ったものを	合格とする	00		
授業時間外	の学習(予習・復習等)に	ついて					
グループご	とに次回講義までの課題	を設定し、予	習を行うご	こと。			
授業時間外	の質問について						
授業時間外の質問は、授業前後の時間でお答えします。							
教科書 <u>書名</u>		国家試験必修	**************************************	専門基礎	分野 基礎医学2	2021	
著者。		<u> </u>	医歯薬出	版株式会社	t		
書名	PT/OT[国家試験必修		専門基礎		2021	
著者		ה	2 华本山	医灶士	Г.		

医歯薬出版株式会社 PT/OT国家試験必修ポイント 基礎OT学2021

医歯薬出版株式会社 PT/OT国家試験必修ポイント 障害別OT治療学2021

医歯薬出版株式会社

出版社 書名 著者名

出版社 書名 著者名 出版社

書名 著者名 出版社

参考図書

本授業は、対面での実施を基本とするが、緊急時など必要に応じて遠隔授業(リアルタイム配信型またはオンデマンド型)に変更することがある。実施方法の変更については、講義支援システムMoodleなどを通じて通知する。

を通じて通知する。 また、試験期間中に一斉休講が生じた場合、評価方法を変更することがある。評価方法の変更については各科目担当者より、別途通知する。

1-2-W-2-1-	—	~)		1		I , ,
授業科目	国試対策ゼ			担当者	3年生担任 他	(オムニバス)
学科名	上 作業療法学科	学 年	3年	総単位数	1単位	
1 11 4	日本州四丁田	開講時期	後期	選択•必修	必修	
内 容	過去の国家試験問題を 過去の国家試験を対象	対象に講義をに国家試験を	を進めて、 を分析し学	国家試験の)傾向を知る。	
到達目標	国家試験の出題問題を	理解する。				
授業計画						
	『試験過去問の分析①					
第2回 国家	:試験過去問の分析②					
第3回 国家	『試験過去問の分析③					
第4回 国家	:試験模試①					
第5回 国家	試験模試①					
第6回 国家	試験模試①					
第7回 国家	:試験模試①の分析					
	試験模試①の分析					
	試験模試①の分析					
	: :試験模試②					
	:武験模試②					
	試験模試②					
	試験模試②の分析					
	問題の考え方					
第15回 まとる	め					
評価方法						
	験の結果を評価にする。 と合格とする。	卒業判定試	験は国家	試験に準す	る問題で行い、2	280点満点中
授業時間外	の学習(予習・復習等)に	ついて				
グループご	とに次回講義までの課題	を設定し、予	習を行うご	<u>-</u> と。		
授業時間外	の質問について					
授業時間外	の質問は、授業前後の時	非間でお答え	します。			
教科書			64. 1.º >- >		// mz ++ z4 x/ -	2001
<u></u> 書名 著者		国 家試験必何	<u> </u>	専門基礎	分野 基礎医学2	2021
出版	社			版株式会社		
書名著者		国家試験必何	修ポイント	専門基礎	分野 臨床医学2	2021
者者? 出版?			医歯薬出	版株式会社	t.	
書名					。礎OT学2021	
著者。			医 歩 ボ 山	版株式会社	-	
書名					L 別OT治療学2021	
著者	名		·			
出版 ^注 参考図書	生		医离楽出	版株式会社	Ľ.	
書名						
× 者	夕.	_				

著者名 出版社

本授業は、対面での実施を基本とするが、緊急時など必要に応じて遠隔授業(リアルタイム配信型またはオンデマンド型)に変更することがある。実施方法の変更については、講義支援システムMoodleなどを通じて通知する。

また、試験期間中に一斉休講が生じた場合、評価方法を変更することがある。評価方法の変更については各科目担当者より、別途通知する。

授業科目	作業療法管理学			担当者	北田 泰敏 他	(オムニバス)			
坐 ひ ち	16-345-75-71-32-71	学 年	3年	総単位数	2単位				
学科名	作業療法学科	開講時期	後期	選択•必修	必修				
内 容	内 容 作業療法において必要な管理についての知識・技術を身に付ける。								
到達目標	作業療法管理について理	里解する。							
授業計画 第1回 作業	療法とマネジメント								
第2回 組織	の成り立ちとマネジメント								
第3回 情報	のマネジメント								
第4回 医療	サービスのマネジメント								
第5回 医療	安全のマネジメント								
第6回 作業	療法業務のマネジメント①)							
第7回 作業	療法業務のマネジメント②								
第8回 作業	療法業務のマネジメントの								
	療法の役割と職域								
第10回 作業	療法士の職業倫理								
第11回 作業	療法をとりまく諸制度								
第12回 作業	療法臨床実習の理解と管	理体制①							
第13回 作業	療法臨床実習の理解と管	理体制②							
第14回 作業	療法士のキャリア開発								
第15回 まとぬ	<i>b</i>								
評価方法									
レポート100	%								
授業時間外	の学習(予習・復習等)に	ついて							
参考資料を配布するので、整理しまとめるようにして下さい。									
授業時間外	の質問について								
授業時間外	の質問は、授業前後の時	間でお答えし	_ます。						

教科書

書名

著者名

出版社

参考図書

書名

著者名

出版社

留意事項

本授業は、対面での実施を基本とするが、緊急時など必要に応じて遠隔授業(リアルタイム配信型またはオンデマンド型)に変更することがある。実施方法の変更については、講義支援システムMoodleなど を通じて通知する。

また、試験期間中に一斉休講が生じた場合、評価方法を変更することがある。評価方法の変更につい ては各科目担当者より、別途通知する。

授業科目	臨床実習 I			担当者	専任教員	□実務教員		
)\\ \tau\ \	16- N/A-1- VI. 374 451	学 年	3年	総単位数	8単位	(オムニバス)		
学科名	作業療法学科	開講時期	前期	選択·必修				
内 容	1、施設での実習を実施する。 2、教員が提示した実践事例(paper patient)を基盤に①ICFシートの整理、教員や学生とのディスカッション、テキスト等により理解を深める。②追加する作業療法評価計画と、治療計画を立案し発表する。 3、実習の全プロセスにおいて担当教員の指導とフィードバックを受ける。 4、教員が、巡回訪問指導を行う。臨床実習指導者と連携し、指導を行う。終了後には報告会を実施する。 5、地域包括ケアシステムにおける通所リハビリテーションもしくは訪問リハビリテーションの役割やリハビリテーションマネージメント等に関する実習体験が可能な施設においては実習時間の1単位以上を経験させていただく。							
到達目標	1、作業療法士としての知識・技術・臨床推論・態度などの基本的資質を習得。 2、教員指導のもと、作業療法実践を経験。 標3、作業療法評価計画を立案し、その一部を発表。 情報の統合と解釈を行い作業療法治療計画を発表。 4、担当教員に必要な報告・連絡・相談が出来る。							
実務教員 による授業	 臨床経験豊富なエキスパ 	ートの講師	が、最新の	の知見を基は	こ講義と実技を行	rð.		
授業計画								
オリ	エンテーション、事前学習							
実践	事例の紹介							
実践	事例に対するICFの整理(個人ワーク	·)					
実践	事例を読んで、わからない	評価、プロ	グラムに〜	ついての学	習(個人ワーク)			
実践	事例の治療計画検討(グ)	レープ学習)					
実践	事例の追加評価、追加治	療プログラ、	ムのまとめ	(グループ!	フーク)			
実践	事例から新たに得られた気	学習のまとぬ	5(グルー	プワーク)				
グル	ープでの報告会							
実践	事例報告書まとめ							
	シディスカッション							
	実習での取り組み							
,,_,,	エンテーション、事前学習							
	開始 施設見学、担当事	加 紹介						
	i事例初期評価	/ 3 小口 ノ 1						
								
	担当事例初期評価レポート作成							
	i事例治療計画検討·開始							
	担当事例再評価							
	事例治療経過のまとめ							
	事例最終評価							
	ス会議での担当事例治療	報告						
	i事例報告書作成(学内)							
実習	実習報告、ディスカッション(学内)							

評価方法 学外評価と学内評価の合計得点で判定する。 授業時間外の学習(予習・復習等)について 1、担当教員の指示に従い、自宅内での学習をすすめること。 2、実践事例の理解を深めるために、わからない用語や評価法は自主的に学習を行うこと。 3、施設での実習に関しては実習指導者の指導に従い自宅学習を遂行すること。 授業時間外の質問について 各担当教員に連絡すること。 教科書 書名 著者名 田版社

参考図書

書名

著者名

出版社

留意事項

授業科目	臨床実習	₽ II		担当者	専任教員	□実務教員	
兴		学 年	3年	総単位数	8単位	(オムニバス)	
学科名	作業療法学科	開講時期	前期	選択·必修	必修		
内 容	1、施設での実習を実施する。 2、教員が提示した実践事例(paper patient)を基盤に①ICFシートの整理、教員や学生とのディスカッション、テキスト等により理解を深める。②追加する作業療法評価計画と、治療計画を立案し発表する。 3、実習の全プロセスにおいて担当教員の指導とフィードバックを受ける。 4、教員が、巡回訪問指導を行う。臨床実習指導者と連携し、指導を行う。終了後には報告会を実施する。 5、地域包括ケアシステムにおける通所リハビリテーションもしくは訪問リハビリテーションの役割やリハビリテーションマネージメント等に関する実習体験が可能な施設においては実習時間の1単位以上を経験させていただく。						
到達目標	教育課程で習得した知識と技術を、臨床実習指導者の指導の下で、作業療法臨床場面において活用し、対象者(児)のニーズにあわせた治療、訓練、練習、援助ができること。また、適切な時期に再評価を行うことができること。						
実務教員による授業	臨床経験豊富なエキスパ	ートの講師	が、最新の	り知見を基	に講義と実技を行	ゔ゙ゔ。	
授業計画							
	エンテーション、事前学習						
	開始施設見学、担当事件	列紹介 					
	事例初期評価	ъ					
	事例初期評価レポート作り	戎					
担当	事例治療計画検討・開始						
担当	事例再評価						
担当	事例治療経過のまとめ						
担当	事例最終評価						
ケー	ス会議での担当事例治療	報告					
担当	事例報告書作成(学内)						
実習	報告、ディスカッション(学	内)					
評価方法							
学外評価と	学内評価の合計得点で判	定する。					
授業時間外	の学習(予習・復習等)に	ついて					
実習指導者に指示を仰ぎ、予習・復習を実施すること。							
授業時間外の質問について							
各担当教員へ連絡すること。							
教科書 書名							
著者名 出版社							
参考図書							
<u>書名</u> 著者	女.						
出版							
留意事項							

授業科目	臨床実習Ⅲ			担当者	 専任教員	□実務教員		
	PHILIP IT DE	学 年	3年	総単位数	8単位	口八切权只		
学科名	作業療法学科	開講時期	後期	選択·必修	 必修			
内 容	1、施設での実習を実施する。 2、教員が提示した実践事例(paper patient)を基盤に①ICFシートの整理、教員や学生とのディスカッション、テキスト等により理解を深める。②追加する作業療法評価計画と、治療計画を立案し発表する。 3、実習の全プロセスにおいて担当教員の指導とフィードバックを受ける。 4、教員が、巡回訪問指導を行う。臨床実習指導者と連携し、指導を行う。終了後には報告会を実施する。 5、地域包括ケアシステムにおける通所リハビリテーションもしくは訪問リハビリテーションの役割やリハビリテーションマネージメント等に関する実習体験が可能な施設においては実習時間の1単位以上を経験させていただく。							
到達目標	教育課程で習得した知識と技術を、臨床実習指導者の指導の下で、作業療法臨床場面において活用し、対象者(児)のニーズにあわせた治療、訓練、練習、援助ができること。 適切な時期にに再評価を行うことができること。実習施設における書類管理や単位管理などの作業療法業務全般を理解する。							
実務教員 による授業	臨床経験豊富なエキスパ	ートの講師	が、最新の)知見を基は	こ講義と実技を行	-5.		
授業計画	- 、 - 、	224 H-1						
	エンテーション、事前学習(
	開始施設見学、担当事例	列紹クト						
	事例初期評価							
	事例初期評価レポート作用	J.Z.						
	事例治療計画検討·開始 事例再評価							
1— —	事例							
	事例品像程過のよとの							
	ス会議での担当事例治療:	起生						
	事例報告書作成(学内)	+K []						
	「報告、ディスカッション(学	内)						
評価方法		1 1/						
学外評価と	学内評価の合計得点で判別	定する。						
授業時間外	の学習(予習・復習等)に~	ついて						
実習指導者	に指示を仰ぎ、予習・復習	を実施する	5こと。					
授業時間外の質問について								
各担当教員へ連絡すること。								
教科書								
書名 著者名								
	出版社							
参考図書 書名								
著者。出版								
留意事項	l-L-							